

ご協力ありがとうございます！

【5月の新入会】(敬称略)

福永 博、(株)大広九州、日本再生資源(株)、吉井有記、(株)万年商店

【5月の寄付品】(敬称略)

ひよどり精肉店、篠原敏治、UA ゼンセン、学びに SPARK を、馬場雄二、布巻和昭、油機エンジニアリング、高宮とよこ、FBS 西日本プラント工業(株)、フリースクール玄海、横田元育、(有)ゼナ、長瀬光輝

体験農園だより

5月は野菜の手入れ作業のほか、お茶摘みや梅酵素づくりといったイベントも行いました。野菜の成長の早さに参加者の皆様は驚かれています。特にミニトマトは一番果が赤く色づき、わずかではありますが収穫が始まりました。昨年は雨が少なく、とても美味しいトマトができたので、今回も同等以上のトマトが収穫できることを祈っています。

お茶摘みでは約40名の方が参加され、たくさんお茶を摘まれました。初参加の方は初めてのお茶摘みが楽しかったようで、とても喜ばれていました。その後、豊田副所長によるお茶煎り講座も行いました。6月は田植大会が予定されています。大変多くの方で賑わいそうで、とても楽しみです！(飯川)



6月の予定

- 4日 体験農園田植え大会
- 4日 南区ひばるマルシェ
- 9日 電力総連研修
- 10日 早良高校スポコミ1年生ボランティア
- 11日 脇山小学校田植え
- 17日 早良高校スポコミ2年生ボランティア
- 18日 生松台ふれあい市
- 25日 脇山公民館歓迎会



鬼木大明神 今月の一句

「早寝早起きは三文の得」なのだ！遂に「夜更かしは十両の大損」とのこと。朝日を浴びると人の体は活動モードに切り替わり自然リズムも整い、夜も快眠できるとのことだ。朝の光はすべての生き物にとってエネルギー源の一つであり、消毒効果もあるそうだ。朝日と仲良くしようじゃないか！！勉強も仕事も朝の静かな時間をその日のハイライトに充たそう！朝に用事を作ろう。用事が背中を押してくれる。用事があると早く目覚めることができる。朝に強い人間(朝型人間)になろうじゃないか！！早寝早起きを続け、朝日と仲良くして、健康な心身を造り上げよう！！

まるごと!西日本



Instagram facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

2022年6月号

令和4年度海外研修生入所式開催

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりとなった、オイスカ西日本研修センター海外研修生入所式を5月21日(土)に開催しました。令和3年度は新規研修生の入国が叶わず、空白となった研修生がやっと入国できました。今年度は8ヶ国より9名の研修生が約1年間の研修を行います。入所式には、ご来賓、役員、支援者の皆様、約120名がご参加頂き、コロナ以前のセンターにふさわしい式典となりました。来年の3月、それぞれの母国に帰国するまで、日本にて、有機農業、日本文化等、様々な体験を通して、リーダーとして成長していただきたいものです。オイスカ会員・支援者の皆様、彼らの成長を暖かく見守って、また、多岐にわたるサポート、よろしくお願い致します。(廣瀬)



ひばるマルシェ

5月22日(日)福岡市油山市民の森でマルシェが開催されパプアニューギニアの研修生リーさんと農産物の販売会に参加をしました。今年に入り自粛も緩和されている中、市民のウォーキングコースにもなっている場所で博多湾の景色もよく、当日は天気にも恵まれたたくさんの方にご来場いただきました。オイスカブースにはそらまめ、キュウリ、玉葱、レタス、加工品の手作りいちごジャムなどの農産物11品目をテーブルに並べ皆様にお買い求めいただきました。今回初めての出店でしたが、多くの方にオイスカの農産物を知っていただく機会にもなりました。これから夏野菜も採れイベント等には新鮮な農産物を準備してまいりますので皆様のお越しをお待ち致しています。(満川)



第10回「本と羊」マルシェ

5月29日に六本松の「本と羊」さんでマルシェをさせていただきました。当日は暑くて人通りが少なかったですが、ご常連さんや「去年マルシェで買ったトウモロコシが美味しかったです。」と言いに来て下さったお客さんもいました。次回開催の頃には夏野菜がたくさん出せると思うので、ぜひお越しください！(園田)



こらぼらQでん米づくりプロジェクト田植え大会開催

5月28日(土)、九州電力主催の田植え大会が3年ぶりにオイスカの田んぼで開催されました。今回はコロナ禍の状況を踏まえたうえで、募集人員を80とし、九電のボランティアも含め合計100名ほどの参加者で実施されましたが、当日は天気にも恵まれ絶好の田植え日和となりました。横幅が80mほどの田んぼに、参加者が1列に並んで1株ずつ丁寧に苗を植えていく様子は、まさにこの時期ならではのオイスカの田んぼの風景で、ようやくこのようなイベントを再開することが出来て、本当に嬉しい気持ちでいっぱいになりました。オイスカの研修生にとっても、田植えのイベントは初めての経験でしたが、参加者と一緒に楽しそうに苗を植えている様子を見ることが出来ました。田植え終了後はセンターに戻り、昼食のカレーを食べた後に研修生の発表とダンスの披露をしました。初めてオイスカに来る参加者も多かったため、今回のイベントを通して少しでもオイスカの活動を知っていただく良い機会となりました。(豊田)



日本語の様子②

4月8日の東ティモールからの研修生を皮切りに、研修生8名が入所しました。現在、OB研修生を除く7名が日本語を勉強中です。とはいえ、6月11日には基礎研修修了式を迎え、本研修(農業実習中心)に入ります。光陰矢の如しです。

Aクラスは、レオニト(東ティモール)、ティムール(ウズベキスタン)、リズキ(インドネシア)の3人にミャンマーのウィンさんが加わりました。4人とも国でよく勉強していて、すでに「みんなの日本語I」のテキストの学習を終えようとしています。普段はよく話しますが、先日の入所式では、テレビ局のインタビューを受けたものの、緊張もあってか、なかなか上手に答えられずにいました。今後教室外での交流を重ねることで、相手の意図する内容を聞き取り、上手に答えられるようになると思います。どうぞ期待です。

Bクラスは、シティベニ(フィジー)、エレヘ(モンゴル)の2人にマレーシアのアズミンさんが加わりました。読み書きや理解のスピードに差がありますが、各々確実に伸びています。その成長の瞬間を感じたとき、「すごいね！できるようになったじゃん！」とジェスチャーと表情で伝えます。それが、彼らの自信になってくれると信じて。初めはなかなか教室外で日本語を積極的に使えていませんでしたが、少しずつ壁が薄くなっているように感じます。壁崩壊も近いのでは。

また、**技能実習生**14名のクラスも始まりました。どう授業を組み立てるのか、頭を悩ませますが、有意義で楽しい時間になるようにしたいと思っています。まだまだ、これからです。がんばれ、研修生！実習生！（立石考子）

室町ケミカル 新入社員研修

5月10日(火)から13日(金)に、室町ケミカル株式会社様の新入社員の皆様に向けた研修を行いました。コロナ禍の影響により、2,3年ぶりの新入社員研修でした。昨年度入社した社員の方も含め8名が研修に参加。研修では研修生との国際交流や規律訓練のほか、ニワトリの解体作業(命をいただく体験)や福岡タワーまでのウォーキングを実施しました。

新入社員の方の中には今まで外国人と交流したことがない方もいて、とても新鮮な体験となったと話をしてくれました。また研修生にとっても同じ年代の日本人との交流はとても楽しめたようです。解体作業では初めての解体で、できた方とできなかった方といらっしやいましたが、なんとか10羽すべてを解体することができました。

私自身、入所して初めての新入社員研修でしたが、研修を通して新入社員の方々の顔つきが段々と変わっていく様子に驚かされました。今回の経験がどこかで役立つ日が来たら幸いです。



UA ゼンセン ボランティア委員会委員研修

5月10日、全国組織で構成されるUAゼンセン(全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟)のボランティア委員会役員15名が西日本研修センターにて研修生との交流、センター活動視察を行いました。例年では、オイスカ海外プロジェクトへ赴き、植林活動をはじめ各国の環境保全活動に取り組まれていましたが、今回初めてオイスカの国内研修センターへの訪問となりました。海外で活躍するオイスカOB達が、事前に日本でどのような研修を受けているのかを見ていただき、人材育成の現場と重要性を確認されました。(廣瀬)



農場研修の風景

センターが運営している体験農園の場内に小さなビニールハウスがあって、そこにはシャインマスカットという高級ブドウが棚仕立てで栽培されています。100平米ほどの狭いハウスですが、去年もたくさんのブドウを収穫することが出来ました。最近のブドウは種がないのが主流となっていますが、種を抜くためにはブドウの花が満開に咲いた時とその2週間後の2回、ジベレリンというホルモンをブドウの房につける作業が必要になります。ひとつひとつ丁寧に付ける必要があるのでなかなか骨が折れる作業です。今年のブドウも、6月2日に2回目のジベレリン処理を行い、何とかきれいな実をつけることが出来ました。8月には美味しそうなシャインマスカットの房がたくさん収穫出来そうです。(豊田)



ひなた村自然塾で梅の収穫体験

5月27日(金)、佐賀県の大和町にあるひなた村自然塾(保育園)が管理している「梅パーク」に、研修生8名を連れて梅ちぎり体験に行ってきました。午後の訪問だったので保育園児と一緒に梅の収穫をすることは出来ませんが、1時間ほどでコンテナにたくさんの梅を収穫することが出来ました。収穫体験のあとは、農園の近くにある「らいふステージ」(福祉施設)が運営している金龍ファームを訪問し、そこで農作業やバンド活動を行っている利用者の皆さんと、歌や踊りを披露して盛り上がりしました。そして、最後にはひなた村自然塾に戻って、園児の皆さんの前で歌や踊りを披露して帰ってきました。子供たちは久しぶりに海外の研修生を目の前にしてちょっと驚いた様子でしたが、最後にはみんなで手を振って私たちを見送ってくれました。(豊田)



会員紹介コーナー

今回紹介する会員さんは、長崎県北松浦郡佐々町にある「さざなみ保育園」です。園長の大長先生は、オイスカの海外研修生と保育園児との交流を積極的に進めてくださっており、コロナ前には毎年サツマイモ掘りなどに招待してくださいました。それでは大長園長にお話を聞いてみましょう。

◆オイスカへの入会のきっかけ◆オイスカの活動は以前から存じておりまして、「子供の森計画」にも長く賛同していました。また、当園の顧問をされている飯田先生という方が、オイスカ香港幼稚園の初代園長でもあったことなどから、いろいろな縁をいただいて入会に至りました。また、国連の低開発国の援助事業で活躍されていたオイスカの渡辺会長も以前から存じ上げております。

◆今までのオイスカとの関りについて◆オイスカとの交流が始まったのは、恐らく平成30年からで、毎年サツマイモ掘りや堀内組さんのブルーベリー縁で収穫体験などを通して保育園児と研修生との交流を深めています。

◆これからオイスカに期待することは何ですか◆オイスカが進める「子供の森計画」の活動が全世界にいきわたり、子ども達が命の育みを、再生した森からの恵みを受けることで維持できていることを学んでほしいです。そして、より多くの国々からたくさんの青年が、オイスカに農業研修生として参加してほしいです。

◆さざなみ保育園について◆

- ・定員 60名 入園定員 0歳児～就学前まで
- ・いろいろな事業への取り組み、子育て支援、病後児保育、特別保育地域活動など

特色・・・年間行事の中で、四季折々のイベント以外にも、英語、習字、絵画、陶芸などの講師を招いて子どもたちに体験させています。また園内に設置されているドーム型の建物は、カナダから輸入されたもので、使用されている木材は、フィンランド・ロマニエラップランド、サンタクロース村と同じ材料です。

